

## 多彩な仕掛け人を増やすこと・・・

先日、会津若松市にある富士通の植物工場を見学した。休止中の半導体製造施設のクリーンルームを活用して、低カリウムレタスを栽培し、慢性腎臓病の方をマーケットに販売している。その特徴は、「洗わないで食べられる」「2週間以上も長持ち」「野菜嫌いの子供にも好評」とのこと、実際に食しても違いを感じなかった。

これで、日本の胃袋を賄うことはないにしても、安全性と美味しさについて、根本的な問題に影響するといえる。やはり重要なことは、食と農をつなぎ合わせる「多彩な仕掛け人」を増やすことであると思う。  
(常務理事 藤本人寿)

## 【地域開発部】

### ○ 事業報告 現在取り組んでいる事業の紹介について

現在、地域開発部が取り組んでいる事業の一部を紹介致します。

#### (1) 緑と水の環境技術革命プロジェクト事業

この事業は、事業化につながる可能性のある技術シーズについて、採算性や技術課題等を調査・検討する事業化可能性調査を行うものであり、以下の2項目について取り組んでいます。

##### 1) 「高リコペントマトと乳酸菌発酵技術を用いた新たな機能性食品の創出」

県の育成品種「高リコペントマト（品種名：リコボール）」と「乳酸菌発酵技術」を用いて、高い機能性を持った食品素材の創出に向けた試験・検討を行っています。

(事業提携先：J A塩尻市・信州大学・長野県野菜花き試験場ほか)

##### 2) 「果実資源の高度利用に向けた新たな加工・リファイナリー技術の構築」

ブドウ・リンゴ・トマトを対象に①酵素剥皮②加工残渣の酵素処理・固形分（種子・果皮）回収③種子・果皮の分離④種子からの搾油⑤果皮からの色素回収とバイオマスプラスチックの製造など、資源全体の加工・リファイナリーを行い、新たな新商品創出への試験・検討を行っています。(事業提携先：J A塩尻市・大阪大学・信州大学・農村工業研究所ほか)

#### (2) 高収益型畜産体制構築事業のうち畜産クラスター実証支援事業

当事業の実施主体は「南信飼料米利用普及協議会」、当機構が事務局も兼ねる。

この事業は①高付加価値の飼料米加工技術の開発実証②長期保存可能な TMR 調製技術の開発実証③飼料米の加工による乳牛への給餌量変化の実証を行い、地域の関係組織、関連産業等が有機的に連携・結集した体制作り（畜産クラスター＝協議会）と収益力の向上を目的としています。(協議会構成組織：J A長野開発機構・伊那酪農協・城田牧場・J A上伊那・長野県・中央オリオン販売(株)・(株)イトウ精麦)

### ○ 研究報告 フードシステムの高度化に対する野菜販売の戦略分析について

本書は、近年需要が拡大している業務・加工用野菜の生産への取り組みについて、生産者・J A・流通業者の新たな戦略として、縮小傾向にある国内野菜生産の再興に向け前述の3者の調査を踏まえ、当機構の坂研究員が自身の研究論文に加筆・修正を加えて纏められています。ぜひ一読ください。

『フードシステムの革新と業務・加工用野菜』

『発行所：株式会社大学教育出版 定価：1, 800 + 税』



## 【人材銀行局】



JAみなみ信州 人事担当部署 塩沢係長さん



・同封するパンフレット（人材銀行局）と登録申込書

地域開発機構人材銀行局は、短期的な雇用ニーズへのサービス事業の一環として、JAみなみ信州の人事担当部署に対して、退職される方々を対象に人材登録を進める「人材就業登録申込書」を退職者個々に、ご案内させていただくこととなりました。

人材銀行局がJA退職者の就労意欲や希望を一元管理することで、JAの求人に際して、迅速な情報提供が可能になります。一方、JAは、人材銀行の活用により急な人手不足が解消され、適正な要員配置が期待されます。人事担当の塩沢係長さんは、「退職者の就業希望データが生かされ、県下他JAのデータも加味しながら、求人紹介を頂ければ、適材適所の人員配置の一助になる。」と賛同いただいております。ついては、県下他JAへも地域開発機構の人材銀行局担当者が登録申込に

係わる説明に伺いますのでよろしくお願いいたします。

## 『頑張ってます。派遣職員』

竹内 広恵さん



昨年から東信会館管理事務所に勤務されています。

つい最近まで水彩画の趣味があり、一時期は、2か所を掛け持ちしながらの熱の入れようだったようです。今は、少し熱がさめましたとのこと。最近、水彩画よりも週1で帰ってくる息子さんとのちょっとしたお店での一杯が、ご趣味？になっているようです。仲睦まじいですね。

また、派遣先の「JA長野県ビル」開催の合同研修旅行が、一番のモチベーションアップにつながるそうです。今年も楽しみです。

## ～編集後記～

「JA長野開発機構だより」の秋季号をお届けいたしました。夏季号発行後、台風をはじめとする集中豪雨により土砂災害等大きな被害が出ています。甚大な被害にあわれた被災者の皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。自然災害の脅威・怖さを改めて感じると共に、日常的な災害への対応を含め、早期に有効な対策が実施されることを望んでいます。

皆様からの調査研究に関するお問い合わせや人材銀行への相談をお待ちしております。（Y）

<発行所>

一般社団法人 長野県農協地域開発機構

長野市大字南長野北石堂 1177 番地 3 JA 長野県ビル 11 階

TEL 026 (236) 3500 (代表) / FAX 026 (236) 3505